

8. 報告事項(1) 平成27年度事業報告

平成27年度事業報告

1. 基本方針・重点事項

・ 事業活動基本方針

豊田法人会は、昭和26年の創立以来「健全な納税者の団体」として、申告納税制度の確立と納税意識の向上に寄与するとともに、企業経営と社会の健全な発展に貢献するため努力してきた。

豊田法人会の64年の活動の歴史と伝統の誇りを大切に、公益法人として3年目を迎え、新しい税に関する活動及び地域の活性化に積極的に取り組んできた。

豊田法人会は、「法人会の基本的指針」に則り、会員の自己研さん、納税意識の向上に努めると共に税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として活動してきた。

・ 重点事項

- (1) 「めざします企業の繁栄と社会への貢献」をキャッチフレーズとして、研修活動の充実と、公益目的事業に該当する地域社会貢献活動に積極的に取り組んだ。
- (2) 税のオピニオンリーダーとしての自覚を高め、国政の健全な運営に寄与するため納税意識の高揚を目的とする諸活動に積極的に取り組んだ。

特に、税を考える週間行事に積極的に参加するとともに、広報誌「豊田法人会だより」を活用し一般の方も含め広く納税意識の高揚が図れるよう努めた。

2. 主な事業活動

(1) 総務関係

イ 公益社団法人としての会の方針に沿った活動の充実を図った。

公益社団法人として公益目的事業を実施するとともに、不特定多数の利益の増進に寄与すべく、計画する地域社会貢献活動は、ホームページ等を利用し広く一般参加の機会を広めるように努めた。

ロ 税を考える週間等への積極的な支援活動

税のオピニオンリーダーとして、税制に関する提言活動を行うとともに、税を考える週間等において税金川柳の掲示を行うほか、税務連絡協議会などの活動を通じ、諸団体が実施する税の作文・習字などの活動と積極的に協調し、納税意識の高揚に努めた。

ハ 支部・部会活動

支部制度が定着し、年々地域に密着した社会貢献活動が提案されるようになってきており、地域社会活動に支部会員が参加する形での地域貢献を推進してきた。

毎年秋に行われる「とよた産業フェスタ」へ参加し、税金川柳、ポスター等を利用した税に関するPRを行うとともに、女性部会による呈茶、募金活動資金による車いすの贈呈、青年部会の「豊田てらこや」への協賛による、地域の子供たちへの租税教育として取り組んだ税金クイズの実施など、公益社団法人として社会貢献に重点を置いた活動を行った。

(2) 組織関係

イ 会員増強対策

平成27年度は「全員参加で、加入率50%回復」をテーマに加入勧奨運動を展開した結果、123社の新規加入と退会防止策の効果により、50%の回復は達成できなかったものの、前年比4社の増加を実現することができた。

来年度も、全員参加による会員の純増を目指し会員増強に努める。

ロ 会員数

	法人数	会員数	加入率
平成27年3月末	7,363社	3,483社	47.3%
平成28年3月末	7,461社	3,487社	46.7%
増・減	98社	4社	△0.6%

注：平成28年3月末会員数の内訳 正会員2,977社 賛助会員510社

ハ 支部組織

14支部(前年度に同じ)

豊田中	高橋松平	七 州	豊 南	猿 投	高 岡	上 郷
稲 武	旭	下 山	小 原	藤 岡	足 助	みよし

ニ 青年・女性部会

青年部会 会員数(平成28年3月末現在)・・・ 97名

女性部会 会員数(平成28年3月末現在)・・・ 120名

(3) 研修関係

研修活動は、会員の自己啓発を支援するための最重要事業である。

このため、経済の構造変化や昨今のIT化の進展により多様化する会員のニーズを踏まえて研修内容の充実を図るとともに、本部研修を柱としつつ、支部・部会研修を税務研修会と「税」以外のテーマによるミニ講演会をセットするなど、より効果的な実施を図った。

本年度は、マイナンバーの導入に対応するため、本会で特別研修会を開催したほか各支

部の研修会においてテーマとして実施したこともあり、研修参加者は前年比760名の大幅増加となった。

更に、公益社団法人として、公益性の高い研修会等を企画し会員企業のみならず、一般市民の参加の機会を広めることに配意した。

なお、研修会を通じて引き続き消費税の「期限内納付推進運動」・「e-Tax の利用推進運動」及び「マイナンバー周知運動」を展開した。

イ シリーズ研修会(計画通り実施)

- (イ) 税務会計講座 ……5回シリーズ
- (ロ) 法人税セミナー(初級) ……5回シリーズ
- (ハ) 法人税セミナー(上級) ……5回シリーズ
- (ニ) 資産税セミナー ……2回シリーズ

ロ 定期研修会(計画通り実施)

- (イ) 決算期別説明会 ……年4回(3ヶ月に一度開催)
- (ロ) 新設法人説明会 ……年2回(豊田税務署と共催)

ハ 定例研修会(計画通り実施)

- (イ) 改正税法・マイナンバー説明会 ……各支部「統一テーマ研修会」として開催した。
- (ロ) 業種別税務研修会
 - ① 自動車部会(5会場8 社で開催)
 - ② 建設部会(豊田建設業協同組合と共催)
 - ③ 鉄工団地部会(豊田市鉄工団地協同組合と共催)
- (ハ) 調査部所管法人「豊田・岡崎合同税務研修会」

豊田法人会主催で11月9日 名古屋国税局調査部部長 水野 進一 様を始め担当官を講師にお迎えし開催した。

ニ 臨時研修会(マイナンバー制度研修会)

マイナンバーに特化した研修会を、税務署担当官と社会保険労務士を講師に開催した。

ホ 支部主催研修会

各支部の年間活動計画に基づき税法・税務研修会を中心に開催した。

ヘ 青年・女性部会研修会

両部会の年間事業計画に基づき開催した。

ト 講演会

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の加藤義人氏を講師にお招きし「リニア時代の名古屋大都市圏の地域づくり」、元・株式会社タニタ社長の谷田大輔氏を講師にお招きし「タニタの経営論」、日本銀行名古屋支店長の梅森 徹氏を講師にお招きし「2016年度の経済展望」の講演会(豊田経済懇話会・豊田商工会議所との共催)を開催した。

チ インターネットセミナー

研修会等に参加できない人のために、豊田法人会のホームページから参加できるインターネットセミナーの利用を推進した。一般の方の受講も可能である。

(4) 税制関係

イ 税制改正要望事項の提言

当法人会は、本年も昨年に引き続き「今後の望ましい税制のあり方」を基本テーマに設定し、国税・地方税について踏み込んだ検討を行い、中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとしてわが国の将来を展望した建設的な提言に努めた。

ロ 自治体の首長等に対する要望活動の実施

(イ) 全法連「税制改正要望書」

次の方々に対して税制委員長から要望書を手交した。(代理受領を含む)

- ①豊田市長 ②みよし市長 ③豊田市議会議長 ④みよし市議会議長
- ⑤地元選出国會議員

(ロ) 愛知県連「税制改正要望書」

豊田商工会議所会頭、豊田市長及びみよし市長に手交し、各商工会会長に発送した。

(5) 地域社会貢献活動

重点事項に掲げた地域社会貢献活動は、法人会の重要な事業活動であり、本部支部、青年・女性部会が一体となり、公益社団法人の名に相応しい活動を目指した。

また、支部制度も定着し年々地域に密着した貢献活動が提案されるようになってきたが、単に寄付金の拠出に終わることなく、会員参加型の汗を流す貢献活動にも積極的に取り組むよう努めた。

(6) 広報関係

法人会のイメージアップ・知名度向上を図るため全法連が作成したポスター(法人会キャラクター)を本会役員・支部役員が率先してそれぞれの企業の目立つところに掲示するとともに、研修会・講演会の会場に積極的に掲示した。

また、「税を考える週間」に併せて「税金川柳」を掲示する等広報活動を展開した。

イ 会報発行関係

「豊田法人会だより」は、従来どおり年3回発行するが、税の啓発のための広報活動として、各号に当局作成のリーフレットの折込み及び関連記事を掲載して、地域社会の広報紙としての役割を担って努力した。

広報紙の配布先は会員のほか、一般市民に広く広報するため、地域の交流館・地元商工会や銀行等の待合室に配付して多くの方に見て頂けるよう工夫した。

ロ ホームページ関係

情報化時代の広報として重要性が増していることから、各イベントを広報する情報を掲載するなど内容の充実と記載記事の更新を積極的に行い、当法人会としての広報活動の大きな柱とし、広く社会に対して広報するよう努めた。

また、研修・講演会等の際の、一般参加の機会の確保のため、分かりやすい広報に努めた。

(7) 厚生関係

イ 福利厚生制度の推進

法人会の福利厚生制度を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、引続き保険協力三社との連携を強化し、福利厚生制度の推進を図り、財政の安定化に努める。

このため、全法連の計画した「3年10億円増収計画」の達成に向けて、支援会メンバーを選定し積極的に紹介運動を展開した。

ロ 福利厚生事業の充実

「生活習慣病予防検診(人間ドック)」は、例年どおり年2回実施することとし、受診者に1人当たり1,000円の補助を行った。

ハ その他の福利厚生事業

県法連で推進している福利厚生事業(労災上乗せ保険、福利厚生倶楽部中部)について、財政基盤安定化の面からも一層の推進を図った。

(8) 青年・女性部会関係

イ 青年部会

「基本方針」並びに「年度方針」に沿った事業計画に基づき部会活動を積極的に展開した。愛知県、東海、全法連の「全国青年の集い」等の参加を通じて幅広い活動に参加した。

ロ 女性部会

「基本方針」並びに「年度方針」に沿った事業計画に基づき部会活動を積極的に展開した。「全国女性フォーラム」への参加を通じて、幅広い活動を行った。

税を考える週間および確定申告の期間に合わせ、地元金機関の待合室等に税金川柳を掲示して納税意識の高揚を図ると共に、豊田産業フェスタにおいて、ボランティア活動として呈茶を伴う募金活動を実施し、その収益金で福祉施設への車椅子の寄贈を行う等の社会貢献活動に積極的に取り組んできた。

平成27年度に実施した本会・支部・部会等の事業並びに会議等の活動状況は、次頁以降のとおりです。

《公益目的事業》

(1)税知識の普及を目的とする事業

イ. 税務研修会

(単位:名)

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
税 務 会 計 講 座			
第 1 回	27. 09. 09	東海税理士会 豊田支部所属	3 0
第 2 回	27. 10. 14	矢頭 税理士	2 7
第 3 回	27. 11. 17		3 0
第 4 回	28. 01. 13		2 5
第 5 回	28. 02. 10		2 6
		延べ	1 3 8
法人税セミナー (初級)			
第 1 回	27. 09. 08	豊田税務署 法人課税第一部門	2 8
第 2 回	27. 10. 06	柴田 上席国税調査官	2 8
第 3 回	27. 11. 05		2 7
第 4 回	28. 01. 12		2 6
第 5 回	28. 02. 09		2 6
		延べ	1 3 5
法人税セミナー (上級)			
第 1 回	27. 09. 15	豊田税務署 法人課税第一部門	2 5
第 2 回	27. 10. 21	柴田 上席国税調査官	2 4
第 3 回	27. 11. 16		2 2
第 4 回	28. 01. 14		2 1
第 5 回	28. 02. 12		2 4
		延べ	1 1 6
資産税セミナー			
第 1 回	27. 10. 20	豊田税務署 資産課税部門	1 5
第 2 回	27. 11. 11	岩田 上席国税調査官	1 2
		延べ	2 7

ロ. 業種別税務研修会

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
①自動車部会			
鬼頭工業(株)	27. 10. 08	豊田税務署 法人課税第一部門	9 2
小島プレス工業(株)	27. 11. 06	加藤 統括国税調査官	1 3 7
豊田鉄工(株)・大豊工業(株)	27. 11. 30	柴田 上席国税調査官	9 5
(株)FTS・豊生ブレーキ工業(株)	27. 12. 03		3 0
(株)協豊製作所・アイシン高丘(株)	27. 12. 07		4 2
②建設業部会	27. 12. 16		3 9
③鉄工団地部会	28. 02. 24		3 6
		延べ	4 7 1

《公益目的事業》

(1)税知識の普及を目的とする事業

ハ. 決算期別説明会

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
3月～ 5月	27. 04. 13	豊田税務署 法人課税第一部門	4 6
6月～ 8月	27. 06. 03	柴田 上席国税調査官 他	2 0
9月～11月	27. 09. 11		1 3
12月～ 2月	28. 01. 15		1 3
		計	9 2

ニ. 新設法人説明会

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
(豊田税務署主催)	27. 04. 17	豊田税務署 法人課税第一部門	1 5
	27. 09. 07	柴田 上席国税調査官 他	1 7
		計	3 2

ホ. 調査部所管法人税務研修会

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
(岡崎法人会との共催)	27. 11. 09	名古屋国税局 調査部部長 水野 進一 氏 名古屋国税局 調査審理課長 沼田 美之 氏 豊田税務署 法人課税第一部門 加藤 統括国税調査官	5 4

ヘ. 改正税法説明会

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
第1回 豊田会場	27. 06. 29	豊田税務署 法人課税第一部門	1 6 5
第2回 藤岡会場	27. 07. 01	加藤 統括国税調査官	7 9
第3回 みよし会場	27. 07. 02	柴田 上席国税調査官 他	1 2 6
		計	3 7 0

ト. マイナンバー制度説明会

研 修 内 容	開 催 日	講 師 等	参加数
(豊田商工会議所との共催)	27. 10. 27	豊田税務署 法人課税第一部門 加藤 統括国税調査官	1 7 3
(中日総合サービスとの共催)	27. 11. 12	社会保険労務士 稲波忠臣 氏 豊田税務署 法人課税第一部門 加藤 統括国税調査官	45
		計	2 1 8

《公益目的事業》

(1)税知識の普及を目的とする事業

チ. 支部税務研修

支 部	開 催 日	講 師 等	参加数
高岡支部	27. 12. 02	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官	2 6
高岡支部	28. 03. 24	「自主点検チェックシートの活用について」 加藤 統括国税調査官	2 7
上郷支部	27. 12. 09	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官	1 4 1
稲武支部	27. 11. 27	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官	3 9
足助支部	27. 12. 21	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官	1 8
小原支部(共同開催)	27. 07. 01	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官他	2 9
藤岡支部(共同開催)	27. 07. 01	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官他	5 0
みよし支部(共同開催)	27. 07. 02	「改正税法・マイナンバー制度について」 加藤 統括国税調査官他	1 2 6
		計	4 5 6

リ. 部会税務研修

部 会	開 催 日	講 師 等	参加数
青年部会	27. 06. 17	「マイナンバー制度について」 宮西 豊田税務署筆頭副署長	5 3
	27. 11. 25	「漫画で税金を考える」～ゴルゴ13と税金～ 柴田 豊田税務署長	4 8
女性部会	27. 06. 26	「マイナンバー制度を含めた税のよもやま話」 加藤 統括国税調査官	4 1
	27. 08. 24	「知って得する贈与税」 柴田 豊田税務署長	5 8
	27. 11. 19	「相続よもやま話」 柴田 豊田税務署長	1 4
	27. 12. 14	「税務署創設120年を迎えるに当たって」 宮西 豊田税務署筆頭副署長	2 7
	28. 01. 25	「北海道の税務行政」 高橋 豊田税務署副署長	6 3
		計	3 0 4

《公益目的事業》

(2)納税意識の高揚を目的とする事業

事業	開催日	事業内容	参加数等
豊田産業フェスタ 税広報・呈茶・募金活動 (女性部会)	27. 09. 26 ～27	税金広報パンフレット配布	1, 510
税金川柳 (女性部会)	27. 11. 11 ～17 28. 02. 12 ～03. 11	税金川柳募集活動 優秀作 トヨタ生活(協)本店展示 優秀作 豊田信用金庫本店展示	応募50点
小学生を対象とした租税教育 (青年部会)	27. 11. 29	豊田てらこや主催クイズバトル :「税金クイズ」実施	111
広報誌 豊田法人会だより 夏号(123号)	27. 07. 15	税に関する各種情報の掲載 表紙「支部地域の紹介」 「徳川家始祖の地 松平郷」 高橋松平支部	3, 800部
秋号(124号)	27. 11. 15	「豊田市駅前通り 再開発事業」 豊田中支部	3, 800部
新春号(125号)	28. 02. 01	「水源 桜並木」 豊南支部	3, 800部
税務連絡協議会を通じての活動 (豊田税務署管内納税貯蓄組合連合会主催)	27. 11. 11 ～11. 17	「税を考える週間」行事 税に関する作品展の応募点数	作文723点 習字1593点 ポスター159点

(3)税制及び税務に関する調査及び提言に関する事業

事業	開催日	事業内容	参加数等
平成28年度税制改正の提言 提言案の募集	～27. 03. 31	理事会員へのアンケート	27
提言集約・全法連への提案 (税制小委員会)	27. 04. 10	提言案の討議・整理 全法連・県連へ提案提出	7
自治体首長への要望提出	27. 10. 20 27. 10. 22	豊田市長・市議会議長に手交 みよし市長・市議会議長に手交	3 3

《公益目的事業》

(4) 地域企業の健全な発展に資する事業
経済・経営講演会、実務研修会

開催区分	開催日	講師等	参加数
七州支部	28. 03. 22	「ストレスチェック義務化対策と労働 紛争の実態」 吉居 真氏〔AIU保険 派遣講師〕	34
豊南支部	28. 03. 09	「電力小売り全面自由化について」 尾崎裕幸氏〔中部電力岡崎支店〕	30
猿投支部	28. 03. 29	『BCP「事業継続計画」セミナー』 黄野吉博氏 〔(社)日本興業技術振興協会副会長〕	29
高岡支部	27. 12. 02	「今こそ求められる中小企業のための 労働災害対策」 赤澤 将氏〔シグマ総合事務所代表〕	26
高岡支部	28. 03. 24	「成功企業が見ているものとは」 高島重行氏〔(株)オービック〕	27
稲武支部	27. 04. 16	「メンタルリスク対策による労災リスク 管理」 田中庄二氏〔AIU保険 派遣講師〕	29
旭支部	27. 07. 09	「経営見直しと発想のポイント」 小坂英雄氏 (小坂行政書士事務所長)	26
旭支部	27. 12. 15	「マイナンバー制度概要及び事業者 に求められる対策等」 平野稔幸氏 (日本電信電話ユーザー協会)	17
みよし支部	28. 03. 15	「自動車メーカーによる保有技術を 応用した商品開発事例紹介」 横山栄介氏〔横山興業(株)専務〕	36

《公益目的事業》

(4) 地域企業の健全な発展に資する事業
経済・経営講演会、実務研修会

開催区分	開催日	講師等	参加数
青年部会	27. 08. 26	「リニア時代の名古屋大都市圏の地域づくり」 加藤義人氏〔三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)〕	67
本部 経済懇話会・商工会議所 共催 経営講演会	28. 02. 29	「タニタの経営論」 谷田大輔(元・株式会社タニタ社長)	60
経済講演会	28. 03. 08	「2016年度の経済展望」 梅森徹氏〔日本銀行名古屋支店長〕	140
		計	521

(4) 地域企業の健全な発展に資する事業
企業施設等見学会

開催区分	開催日	講師等	参加数
豊田中支部	27. 11. 18	名古屋城本丸御殿・中部電力知多電力館・ミツカンミュージアム・半田赤レンガ建物等の町づくりの視察研修	32
高橋松平支部	27. 11. 09	中日本冰糖(株)南濃工場視察研修	15
豊南支部	27. 10. 28	養命酒駒ヶ根工場視察研修	24
七州支部	27. 11. 16	池島フーズ(株)掛川工場 会長講話	23
猿投支部	27. 10. 02	(株)浜与本店/伊勢工場視察研修	27
高岡支部	27. 12. 21	新日鐵住金(株)、名古屋製鐵所他視察研修	19
旭支部	27. 11. 12	敦賀赤レンガ 町づくりの視察研修	28
下山支部	27. 11. 13	農業法人せいわの里視察・経営講話	30
小原支部	28. 02. 08	NPO法人夢未来くんま視察・経営講話	25
みよし支部	27. 09. 16	木曽法人会会員会社との情報交換	30
		計	253

《公益目的事業》

(5) 地域社会への貢献を目的とする事業
健康・文化・芸術等講演会

開催区分	開催日	講師等	参加数
豊田中支部	28. 03. 03	「豊田スタジアム寄席へのご招待」 桂梅團治氏〔落語家〕	95
高橋松平支部	28. 03. 15	「豊田におけるクールジャパン」 トム・ヴィンセント氏 〔(株)トノループ・ネットワークス 代表〕	46
上郷支部	27. 12. 09	「組織をよりイキイキさせるコミュニケーション」 齋藤正明氏 〔(株)ネクストスタンダード代表取締役〕	141
女性部会	27. 08. 24	「フラの踊りとおはなし」 講話・実演 坂井信代氏ほか	58
女性部会	28. 01. 25	「終わりなき松と葵」 大河原鎧基氏〔松平東照宮 宮司〕	63
計			403

《公益目的事業》

(5) 地域社会への貢献を目的とする事業
社会貢献事業

支 部	実 施 日	事業内容等	参加数
豊田中支部	27. 04 ～27. 06	街頭青パト補導活動支援 役員による運営等参加	10
七州支部	27. 12. 13	障がい者の日記念事業支援 「ふれあい交流会」参加・菓子等提供	300
上郷支部	27. 04 ～27. 11	家下川クリーン作戦支援事業 清掃作業参加・活動用備品提供	小中学生他 延約300名
稲武支部	27. 05. 17 ～16	「ふるさとふれあいウォーキング」支援 ～歩かまい稲武～ 10周年記念大会	約1,000人
足助支部	27. 11. 15	「中馬街道 人馬パレード」支援 役員による運営等参加	約260名
下山支部	27. 04. ～27. 06	「サイクルオアシス整備事業」支援 地域観光の活性化運営等参加	約300名
小原支部	27. 06. ～28. 03	小原「四季桜まつり」協賛 備品提供・運営参加	1,000人以上
女性部会	27. 07. 11	「とよたハートフルコンサート」協賛 役員・会員による運営等参加	約1,000人

《収益事業等》

(6) 会員の福利厚生等に資する事業

事業区分	実施日	内 容	参加数
会員の福利厚生事業	27. 07. 23 ～25	上半期生活習慣病検診	116
	27. 11. 20 ～21	下半期生活習慣病検診	97
	年間随時	福利厚生制度の普及推進(案内・周知) (福利厚生倶楽部)	-
	年間随時	かんぽ団体保険料集金事務	-
保険事業 簡易保険	年間随時	制度の普及推進(案内・周知) 大型保障制度 ビジネスガード がん・医療保険制度 貸倒保障制度	-

(7) 会員の交流に資するための事業

事業区分	実施日	内 容	参加数
視察旅行 稲武支部	27. 10. 23	世界遺産三保の松原・駿河湾クルーズ	22
藤岡支部	28. 02. 26	東海市「東邦ガス ガスエネルギー館」 視察	7
青年部会	27. 11. 27 ～28	神戸方面(竹中大工道具館視察他)	22
女性部会	27. 11. 04 ～05	横浜方面(静岡 お茶工場視察他)	33
本会	27. 10. 15 ～16	北陸方面(ヤマザキマザック美濃加茂 製作所視察他)	32